

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

総資産世界3位と黒御影の「キズ」のお話

JSC 貿易部ニュース インド編

いつもお世話になりありがとうございます。空が澄み清々しい秋晴れの季節となりました。

さて、巷では「iPhone14」発売のニュースが話題となっておりますが、あれだけ高額なものが売れ続けるのはさすが Apple のブランド力です。

それにしても身の回りを見渡してみると、米国企業抜きでは成り立たないほど米国ブランドの商品は生活の一部となっています。

商品だけでなくサービスもろくに、GAFAM (Google、Amazon、Facebook (Meta)、Apple、Microsoft) の5社の提供するサービスは日本人に欠かせないものとなっています。

2年前に GAFAM 5社の時価総額が日本の東証一部上場企業の 2170社の時価総額の合計を超えましたが、その後も GAFAM だけでなく、テスラなど米国企業の勢いは止まりません。

そんな米国企業が躍進する昨今ですが、総資産が Microsoft のビルゲイツ氏を抜いて、もうすぐ Amazon のジェフベゾス氏やテスラのイーロンマスク氏に追いつくと言われているアジア人がいるのをご存じでしょうか？

アリババの馬雲 (ジャック・マー) 氏もなしえなかった世界第3位の富豪に初めてアジア人としてなった人物です。

その名はインドのゴータム・アダニ氏です。

数年前までインド国外ではあまり知られていなかったアダニ氏。

もともとは大学中退後、ダイヤモンド貿易を足掛かりに、石炭事業、港湾事業と拡大していったインドの実業家です。



Gautam Adani, center. Photographer: Tomohiro Ohsumi/Bloomberg

現在は空港運営、都市ガス販売、炭鉱会社なども運営し、近年はメディアにも進出する世界最大級の複合企業「アダニ・グループ」を率いています。

Top 5

Gautam Adani is the first Asian to reach the No. 3 spot

Name	Net Worth
Elon Musk	\$251.4B
Jeff Bezos	153.4
Gautam Adani	137.4
Bernard Arnault	136.0
Bill Gates	117.5

Source: Bloomberg Billionaires Index

表は世界の総資産ランキング第一位から第五位です。

ゴータム・アダニ氏の総資産は1,374億ドル（約19兆円）もあり、Amazonの株価指数によっては、すでにジェフベゾスを越えてすでに第二位になっているという話もあるくらいです。異次元のお金持ちです。桁が違いますね！

これまで米国企業で占めていた富豪ランキングTOP3にアジア人で初めて入ったのが、中国人ではなくインド人というのは新たな時代を感じます。

これだけお金があるなら、キズの出ない、お求めやすい価格のインド黒御影を開発して下さい～(笑)と、アダニさんをお願いしたくなります。本当に(^ ^)

さて今月の石のお話です。

アダニさんに開発をお願いしたいくらい困っているインドの黒御影ですが、これまでも多くの黒御影石が市場に出ては消えていきました。

市場から消えていく理由の一つとして、やはり「キズ」の問題があります。

黒御影は白御影以上に熱を吸収するので、昼間に直射日光を浴び続けると石が膨張します。逆に気温の下がる雨天や夜間には収縮し、これらを繰り返すことで表面に「クラック（キズ）」が入ることがあります。中国で黒御影の墓石製品を生産する工場を見学されたことのあるお客様ならご覧になったことのある方もいらっしゃると思いますが、品質管理のしっかりした工場だと黒御影の原石に養生シートなどをかけて対策をしているところもあるくらいです。

製品も然りです。完成後や建墓後でも、膨張と収縮を繰り返すことにより、当初は表面に見えなかった「キズ」が、時間が経つと見えてくることもあります。

特に、新しく開発された山や値段の安い黒御影では時間が経ってから「キズ」が出るものが多いのも事実です。

当社の中国のパートナー工場では、建立後の「キズ」を防ぐ為に、インドから原石が到着した後、まず二面を切って磨いて暫く様子を見ます。

磨いて数日後に「キズ」が出ることもありますので、しばらくの期間、様子を見てキズの出していない原石のみを使う様にして対策を行っています。



下の写真は本社に取り寄せたインド産黒御影のサンプルです。



屋上に置いて観察していたら、初めは無かった「キズ」が後に出て来ました(>_<)

建立後にこのような「キズ」が出たら本当に大変です！

そういう意味では、現在も多くの石材店様で用いられている「YKD」「MU」「クンナム」といった

歴史のある石は、出生の不明瞭な値段の安いインドの黒御影と比較すると、建立後の「キズ」トラブルは少ない様に思います。

しかしながら残念なことに、「クンナム」については丁場が頻繁に停止し、工場の在庫も少なくなってきております。

私たち貿易部では、今後も「お求めやすい価格で、且つキズが出にくく採掘量も安定した黒御影」この条件を満たせる「インド黒」の開発を大テーマに調査を進めてまいりますが、いまのおススメとしては、価格は少し高くなりましたが、実績のある「YKD」「MU」あたりが一番安心かと存じます。

では、今月も最後までお読み頂きありがとうございます。
秋冷が日増しに加わってまいります。どうかご自愛くださいませ。

2022/10/01